

Special Interview

元劇団四季ミュージカル女優、秋夢子



中国出身の女優で、昨年12月に10年間在籍した劇団四季を退団して、フリーとなった秋夢子（あき ゆめこ）。子供の頃から様々な歌唱コンクールで優勝し、劇団四季では彼女自身の努力と天性の声で様々な難役を演じてきた。「私を育ててくれたのは、この日本の国、そして、日本のお客様です」という言葉通り、これからの女優としての目標は、外国人である自分にもとても優しく、ずっと暖かく応援し続けてくれた日本のファンに、舞台の上で最高の感動を届けることで恩返しすること。彼女にとって、女優はまさに天職。4月3日（木）の初のソロコンサートを開催中、インタビューを通じて貴重な話を聞かせてくれた。本誌でも、女優・歌手として日本と中国のかけ橋となるような活躍に期待しながら、今後の彼女の活動に注目していきたい。【2014年2月21日（金）横浜某所にて 取材&文：加瀬正之】

★昨年10年間所属した劇団四季を退団されて、フリーとして活動を始められましたが、現在の気持ちはいかがですか？

不安もありますけど、とてもワクワクしています！日本に来てからの10年間、ほとんどの時間を劇団四季の一員として過ごしていたので、外の世界を全く知らなかったんです。もっと自分自身のことを確かめてみたいと思った時、そうするためには劇団四季を辞めるしかないと思ったんです。ファンの方たちが私たちをどのように見ていくれているのか分からなかったですし、もっとお客さんと直接触れ合いたいという思いもありました。無謀な形で辞めてしまい、今現在のはけて安定した状況ではありませんけど、得るものがあれば絶対に失うものもあるので、全く後悔はしていません。年齢的にもまだまだいろいろなことが出来ると思いますし、これからのことを

思うと、自分がやりたいと思うことが全部できる可能性もあるので、本当に世界が広がったような感じがしています。

★4月3日（木）に初のソロコンサート～『My Favorite Songs』秋夢子ソロコンサート～が開催されますが、そのコンサートについて聞かせて下さい。

今までは作品の中で役によって歌う歌も限定されていたんですけど、コンサートのタイトルを『My Favorite Songs』と付けたように、今回は私が一番気に入っている曲を中心に歌う予定です。曲名はまだ内緒ですけど、ジャンルに関係なく、自分の表現力を出し切れる曲や男性が歌うポップスも歌ったり、みんなが知っている曲や私が歌うとういう風になるんだなあってお客さんやファンの方々も楽しんでくれるような曲も

歌う予定です。私が気に入っている曲以外にも、これまで歌ったことがない曲にもチャレンジしたいと思っています。歌を通して私自身を紹介するような内容にしたいですね。

★劇団四季で一番の思い出に残っている作品について聞かせて下さい。

『クレイジー・フォー・ユー』ですね。ジョージ・ガーシュインのミュージカルなんですけど、私、ジャズが大好きなんです！ ポリー・ベーカーという役を演じたんですけど、その時の私の年齢と近くて、心境も同じで、その役をやる前に「私そのままじゃない！」と思ったんです。ファンの方から頂いた手紙にもそのようなことが書かれていました。それまで演じた役の中でも私にぴったりの役でしたし、俳優として役を選ぶのではなく、役が私を選んでくれたと感じました。どのような役でも演じ切ることが、俳優にとって一番目指さなければいけないところだと思いますけど、ポリーの役は本当に私にぴったりでしたし、演じていてとても楽しかったですね。自分自身を鏡で見ているような感じで、本当に死ぬまでやりたい役でした。ポリーの役は1年間演じて、全国の会場を250箇所くらい回りました。毎日移動しているような感じでしたね。1000人規模の会場でもお客さん一人一人の気配や反応を感じられましたし、お客さんの反応もとても楽しかったですね。

★全国を回った時に特に印象に残った都市はどこでしたか？

たくさんありましたけど、特に印象深かったのは北海道です。いつか住んでみたいですね。広々として、お客さんも優しく、とても親切でした。あと、私ラーメンが大好きなんです（笑）。

★「秋 夢子」という芸名はどのように付けられたのですか？

劇団四季の代表の浅利慶太さんに付けて頂いたんです。最初に頂いた時は少し抵抗がありましたけど、一度聞いたら忘れない名前ですし、お客さんからもそのように言って頂いたので、そのまま付けています。でも、良く考えたら、私の本名の2つ漢字「秋」と「夢」が使われていて、それに「子」を付ける形でしたし、私は9月生まで秋に生まれているので、今後日本で活躍していくにはとても良い名前だと思いましたね。

★中国ではチャン・ツイイーやゴン・リーなど、数々の映画女優を輩出した北京の名門演劇学校「中央戯劇学院」の音楽劇本科（ミュージカル科）を卒業されましたが、小さい頃からミュージカルや歌に興味を持たれていたのですか？

小さい頃からいろいろな歌唱コンクールに出場していて、よく優勝したり、最低でも2等賞とかを貰っていたんです。子供の頃からカラオケも大好きで、お父さんとお母さんと一緒によくカラオケについて行って、自分からマイクを取ってよく歌っていたんです（笑）。歌うことが大好きだったんですね。歌いながら一人芝居するような子供でした。

★音楽面では両親から強い影響を受けていたのですか？

いえ、特別な影響は受けていませんが、お母さんが若い時に歌手になりたかったんです。でも、その当時の中国では自分の思い通りに出来ない状況もあったので、その夢を私に託



した部分もありますね。だから、私の人生の半分はお母さんの人生だと思っています。一緒に音楽をやっていた友達もたくさんいましたけど、みんな別の道を歩んだり、諦めてしまったりして、この仕事を続けているのは本当に私一人だけなんです。日本に来てから実感していますが、本当に私にぴったりの仕事、天職だと思っています。

★憧れていた歌手やアーティストはいましたか？

マライア・キャリーが大好きでした。日本のアーティストではミシャ（MISIA）が好きです。あのパワーのある歌声が大好きなんです。

★憧れている女優や尊敬する女優はいますか？

こういう女優さんになりたいとか、この女優さんみたいになりたいから真似をしようとか、そのようなことはないですね。私自身の芝居のスタイルがありますし、アーティストや俳優はみんなそのような考えを持っていると思いますね。でも、日本のミュージカルでは、新妻聖子さんが大好きです。歌の音域の幅は広いし、私と年齢はあまり変わらないのに何でこんなに上手なんだろうって思いました。

★日本に興味を持ったきっかけについて聞かせて下さい。

『セーラームーン』です（笑）。確か小学校5年生の時だったと思いますけど、テレビで毎日見っていました。当時中国で



はテレビ放送をアンテナで受信していたんですけど、私が住んでいた所は香港に近かったので、よく台風が来ていたんです。『セーラームーン』が放送される時に台風が来た時は、私がどうしても見たいと大騒ぎするので、お父さんやお母さんが屋上によって放送が終わるまでの30分間くらい、ずっとアンテナを手で押さえてくれていたんです（笑）。それくらい大好きでしたね（笑）。あと、『セーラームーン』を見終わると必ず屋上に行って、ずっと空を見つめていたんです。「王子様が降りてかないかな？」って（笑）。本当ですよ。私の子供時代、今もそうですけど、1日の半分くらいは妄想しているんです。自分の名前と同じ「夢」やいろいろなことを考えて妄想しているんです（笑）。『セーラームーン』で日本に興味を持ったというよりも、主題歌の歌詞から日本語がとてもキレイだなと感じたんです。それで、どうしても一緒に歌いたくて、テレビから流れる歌を聴きながら、自分の耳で聴き取って、ローマ字で何となく歌詞を書いて歌っていたんです。毎日ちょっとずつ書き足しながら覚えていて、1ヵ月くらいで漸く完成しました（笑）。まだ夢見る少女のような年齢だったので、日本語はキレイだなと思いましたけど、その頃は日本に行きたいという気持ちまではなくて、今の自分の状況は全く想像できませんでしたね。日本に行きたいと思ったのは大学時代に演劇を勉強していた時でした。

★日本と中国の間で、政治的にもいろいろとニュースで取り沙汰されることも多いですが、何か特別な思いはありますか？

そのことは私自身の中でもとても大きなことで、日本と中国はこんなに近い国なのに、なぜこんなに関係が良くなくて、お

互いに心から離れてしまっているんだらうと思いますね。子供の頃から南京大虐殺等、歴史を通じて日本はこういう国だというような教育を受けてきましたけど、でも、私たちの世代やもっと若い世代は平和な時代ですし、私は日本に来てから中国人が日本人に学ぶべきことがたくさんあるってわかったんです。もし今、中国人にこのような私の発言を見られたり聞かれたりしたら、恐らく批判されると思いますけど、それでも構わないと思っています。10年間日本に居て、私が育てられたのは日本なんです。だから、日本人の良さを学んで、出来れば私が日本と中国とのかけ橋のような存在になりたいと思っています。それが私の役割なのかなと思っていますし、私の目的といえますか、これからどうい風生きていこうかを含めて、とても大きくて大事な夢だと思っています。私自身の夢よりもそういう夢があるので、これからも頑張っていきたいですね。

★歌以外に楽器は演奏されるのですか？

7歳から11歳くらいまでピアノをやっていました。コードを弾ける程度でしたけど、途中で諦めてしまいましたね。歌うことの方が好きでしたし、私の最大の武器は声だと思っています。

★Facebookの趣味・興味のところに「ドライブ、ジャズ」と書かれていますが、好きなジャズのアーティストやアルバムについて聞かせて下さい。

好きなアーティストはダイアナ・クラールですね。彼女のアルバム『ザ・ルック・オブ・ラヴ』は大好きです。ライヴ映像もよく見えています。あと、ダイアナ・クラールと同じカナダ出身のジャズ・シンガーのニッキー・ヤノフスキーも好きです。彼女は天才少女って言われていましたよね。最近も毎日1回は必ず彼女のアルバム『ニッキー・ヘフォー・アナザー・デイ』を聴いています。彼女の歌声を聴くと元気になります。

★近い将来、ジャズのコンサートやジャズ・クラブでのライブにも期待しています。

まだそのような機会がありませんし、ジャズを歌うのは難しくて、歌おうと思ってもなかなか歌えませんけど、いつかやってみたいですね。知り合いのジャズ・シンガーの方に聞いても、ライブをたくさん見たりしながら、しっかりと勉強していくしかないみたいですね。でも、ジャズは歌えるようになりたいです。

★中国のジャズ・シーンはいかがですか？

ジャズはとても盛んです。上海にはジャズ・クラブがたくさんありますし、アメリカのジャズ・ミュージシャンたちも上海に来てよくライブをしています。北京よりも上海の方が盛んですね。大きなミュージカルの公演でも、初日はほとんど上海からスタートするんですけど、きっと外国人が多いからだと思います。

★昨年劇団四季を退団されてからミュージカルの本場ニューヨークに行かれたそうですが、ニューヨークはいかがでしたか？

ニューヨークはとても刺激的で、本当に行って良かったと思っています。3週間の滞在中は時差の関係もあって体調面で少し大変でしたけど、ミュージカルを見る時だけはパチッと目が覚めました。ミュージカルは全部で9本、オフ・ブロードウェイ



イを合わせると全部で10数本見ました。良かったのは『ビッグ・フィッシュ』と『キンキーブーツ』ですね。『キンキーブーツ』では、シアターの真向かいにある『KODAMA SUSHI』というお店のマナージャーのヒデさんという方に楽屋に連れて行ってもらったんですけど、とても感激しました。その時にステージの上にも立たせてもらったんです！少し可笑しな行動だったかもしれませんが、私、ステージの床を撫でたり、空気を思いっきり吸ったりしてましたんです（笑）。これまでの長い歴史の中で、このステージに数え切れないくらいたくさんの方の俳優さんたちが立ったんだなと思って、床を撫でていたんです。それくらい感動でした。10年間のご褒美のような感じでしたね。

★4月3日（木）のソロコンサート後の予定、また、今後チャレンジしてみたいことは何ですか？

出来れば、次は私の誕生日の9月にもう少し広い会場で、大きなコンサートを開きたいと思っています。あと、ミュージカルのオーディションを受けたり、今後はテレビや映画の仕事等にもチャレンジしてみました。

★最後に、夢は何ですか？

本当にこの国の役に立ちたいと思っています。新しい自分、自分の可能性も確かめたいですし、私自身の経験をいろいろな人たちに生かしてもらって、「自分も頑張ろう！」とか良い刺激や影響を与えられる存在になればと思っています。

秋 夢子オフィシャル・ホームページ www.akiyumeko.com

【秋 夢子（あき ゆめこ）】

中華人民共和国広東省茂名市出身、元劇団四季のミュージカル女優。前芸名は鄭夢秋（ジェン・モンチュウ）

略歴

【中国での経歴】

1999年北京の名門演劇学校中央戯劇学院表演系音楽劇本科（＝ミュージカル科）に入学。勉学のかたわら舞台（学内公演も含む）やテレビ、映画にも出演。ストレートプレイでは『屠夫』、ミュージカルでは『夢から醒めた夢』『香格里拉（シャングリラ）』、TVドラマでは『生命因你而動聽』『風沙』、映画では『歡樂一家』などに出演。

【劇団四季】

2001年に劇団四季のレッスンに初参加、2003年9月に来日、劇団四季に入団。2004年2月、『CATS』のジェリー・ロラム＝グリドル・ボーン役で日本の舞台にデビュー。以後回を重ね、現在では同役のメインキャストとして成長振りを見せている。2004年6月には、『ひばり』（貴婦人役）でストレートプレイの舞台にも立った。その後芸名を秋 夢子と改名。2006年5月放映のフジテレビ『オナジソノシタ[1]』でその素顔がお茶の間に紹介された。2007年5月24日には、『アイダ』でタイトルロールデビュー。2008年6月22日に『思い出を売る男』の恋人ジェニ役で舞台に立つ。2009年9月13日に、『ミュージカル南十字星』で、主役の一人、リナ・ニングラット役としてデビューした。2010年1月20日、『エビータ』で、タイトルロールデビュー。『クレイジー・フォー・ユー』の主役のひとりポリー・ペーカー役は2005年～2006年にも稽古をしたことがあったがその時には出演には至らず、2011年2月19日に始まった全国公演で念願のデビュー、全公演に出演。その後の東京凱旋公演でも全公演に出演した。「キヤッツ」8000回公演にも出演した。「アイダ」四季劇場【秋】アンコール公演ではアイダとして初日に出演した。2013年12月20日付で劇団四季を退団。

【出演作品】

CATS - ジェリー・ロラム＝グリドル・ボーン
ひばり - 貴婦人
アイダ - アイダ
思い出を売る男 - 恋人ジェニ
劇団四季 ソング & ダンス 55 ステップス - ヴォーカルパート
ミュージカル李香蘭 - 李愛蓮
ミュージカル南十字星 - リナ・ニングラット
エビータ - エヴァ・ペロン
クレイジー・フォー・ユー - ポリー・ペーカー
リトルマーメイド - アリエル



『My Favorite Songs』秋 夢子ソロコンサート

出演者：秋 夢子 (vo) 鎮守めぐみ (p) 萱谷 亮一 (dr)
公演：2014年4月3日（木）
open 18:30 start 19:00
会場：鶴見区民文化センターサルビアホール 4F
<http://salvia-hall.jp/>
料金：全席自由席 ¥5,500
チケット予約：詳細はこちら www.akiyumeko.com
お問い合わせ：otoiawase@akiyumeko.com
★P16にコンサートの詳細が掲載されています！